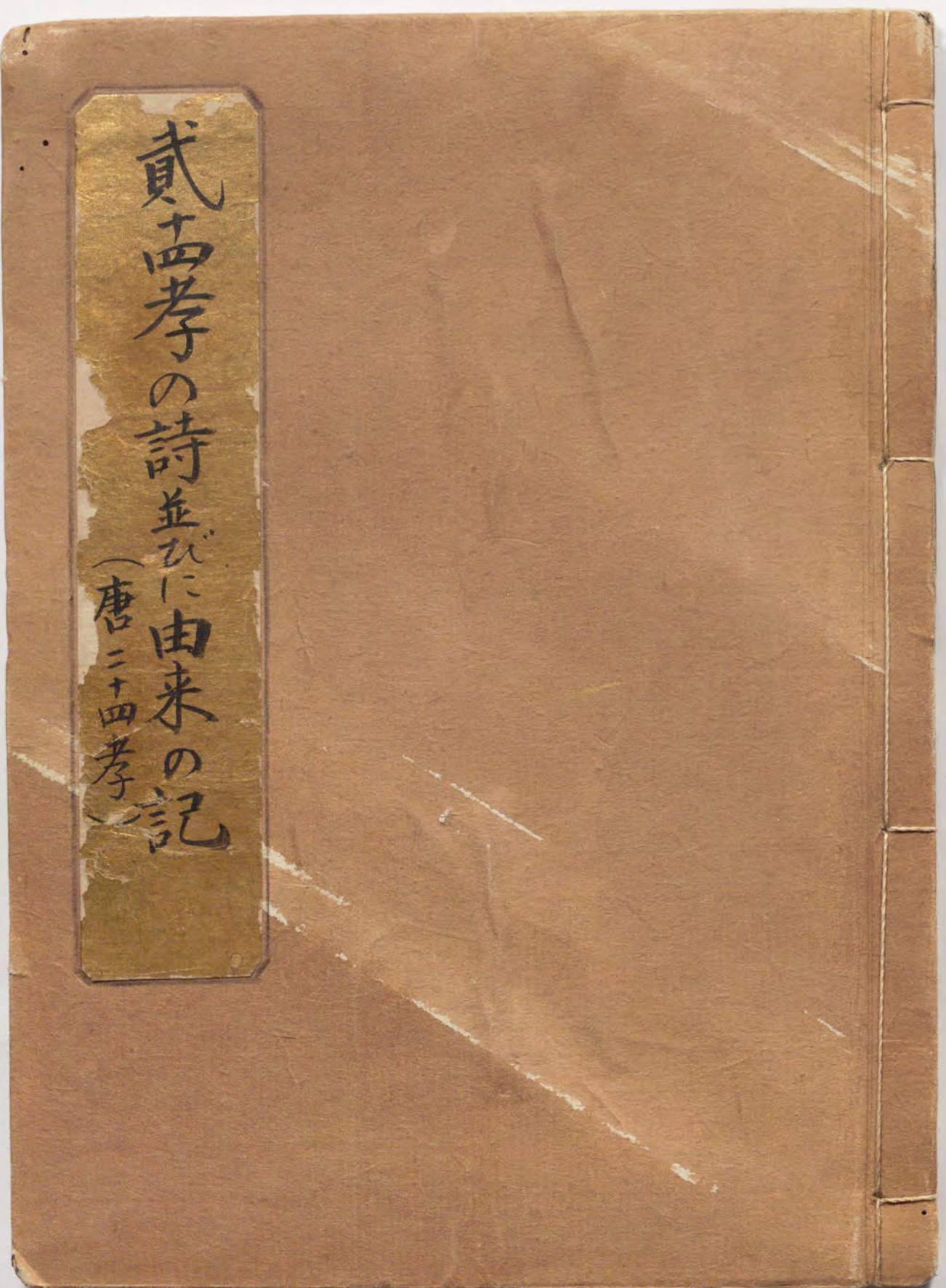
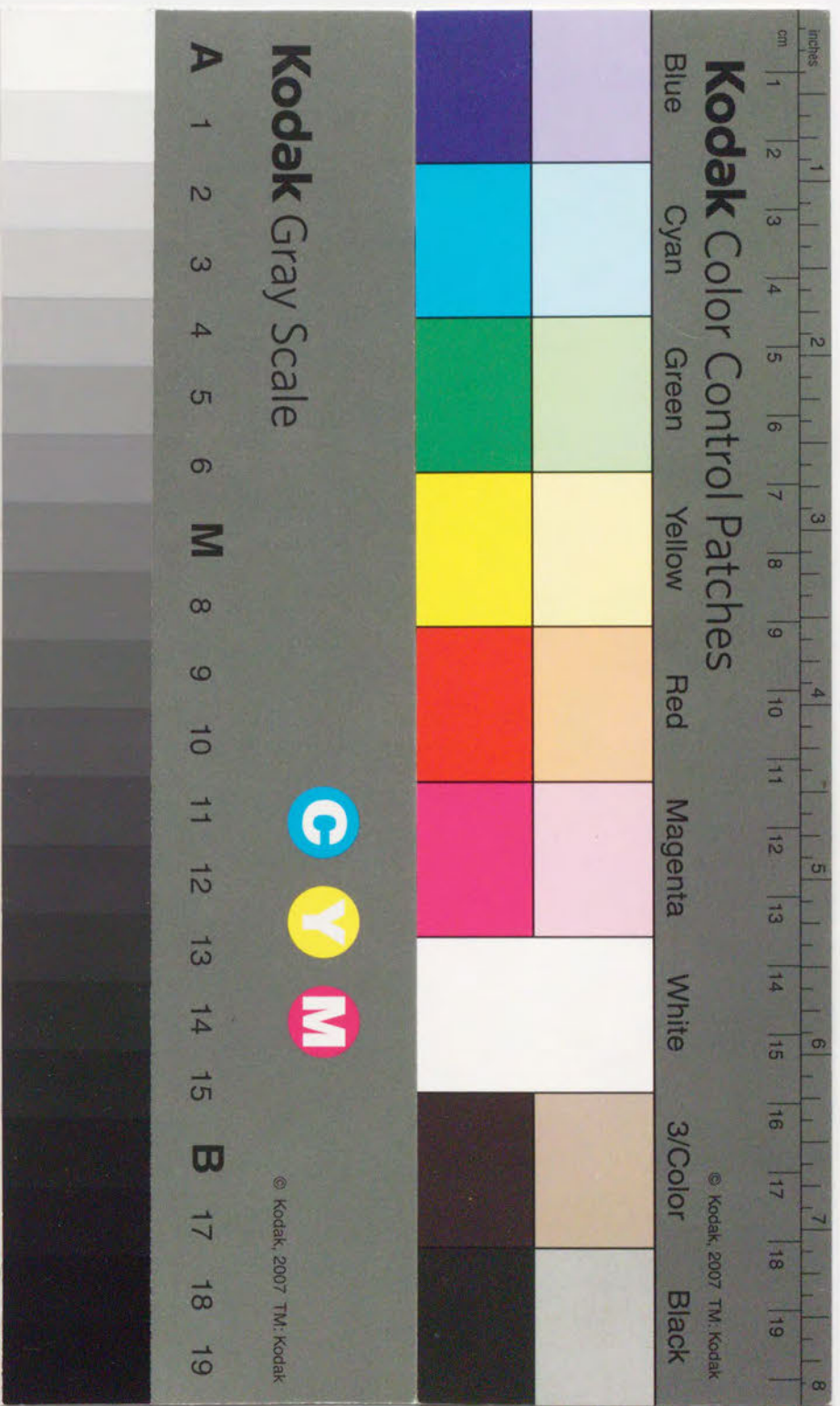




Kodak Color Control Patches

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

Magenta

White

3/Color

Black

Kodak Gray Scale

A

1

2

3

4

5

6

M

8

9

10

11

12

13

14

15

B

17

18

19

C

Y

M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

貳十四孝の詩並びに由来の記

(唐二十四孝)

ふりしき書

海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

嗣^{ツイテ}亮^{リョウ}登^{トウ}宝^{ホウ}位^イ慈^ジ感^{カン}初^{ハツ}天^{テン}心^{シン}

此^{コノ}時^{トキ}は^ハ時^{トキ}の^ノ花^{ハナ}々^々重^{チウ}花^{ハナ}と^ト也^ヤ二十^{ジウ}より

海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

春^{ハル}耕^{タカエス}二^ニ月^{ゲツ}は^ハ田^{テン}の^ノあ^アら^ラの^ノま^マと^ト云^{クニ}

り^リ海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

り^リ海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

り^リ海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

り^リ海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

り^リ海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

り^リ海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

り^リ海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

り^リ海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

り^リ海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

り^リ海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

り^リ海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

り^リ海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

り^リ海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

り^リ海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

り^リ海^{タイ}久^{トシテ}耕^{タカエス}春^{カレミ}家^{ゾウ}心^{フシ}粉^コ茶^チ会^{カイ}

漢の武帝は元封二年（前109）に朝鮮半島の三韓（三韓）を征伐し、漢の郡を設け、漢の文化を朝鮮に伝えた。武帝は元封二年（前109）に朝鮮半島の三韓（三韓）を征伐し、漢の郡を設け、漢の文化を朝鮮に伝えた。

漢文帝

漢の文帝は元封二年（前109）に朝鮮半島の三韓（三韓）を征伐し、漢の郡を設け、漢の文化を朝鮮に伝えた。武帝は元封二年（前109）に朝鮮半島の三韓（三韓）を征伐し、漢の郡を設け、漢の文化を朝鮮に伝えた。

漢の文帝は元封二年（前109）に朝鮮半島の三韓（三韓）を征伐し、漢の郡を設け、漢の文化を朝鮮に伝えた。武帝は元封二年（前109）に朝鮮半島の三韓（三韓）を征伐し、漢の郡を設け、漢の文化を朝鮮に伝えた。

湯業賦親ふむむとくく母りうこーめを湯業
食力親と自下掌て決やめを後進見りや
後一四百餘列の天子の御り妙うの由事ハ
そめりーゆふしは改りあまう水事すまふ
まふあまも陳平周勃あんとあけ。馬下ゆきなりとあ
一別海門ふあーまうや。吏より漢の文帝とや
ま。玄徳より中代もゆふふ氏あー傾ゆけ。
早け帝のゆあやふりうとく

老翁子

楚國乃人ヨリ又國シウの伐乃人々をヨリ列女傳シウヂウテン

のせなりあわれむゆへに今猶よ思ひおそくるはま
イブカシ

戲ケ 棄グ 學マナブ 嬌ケリ 癡チ 春ハル 風フウ 初ハツ 保ホ 衣エ

双サウ 親シン 関ヒラケテ 以リテ 笑ワタ 在ナリ 公コウ 皮ヒ 庭テイ 園エン

中將つ二りふ々若希子二人り親重いふるん

由る事と云ふより之はの句を親に甚くし海

びたるる成服也戲章橋擬上すあふとを

中絶之者ありしを云ふに
けしきありしを云ふに

ねんじりゝるゝのすゝむすゝまゝに
 喜風 瑞雲

ふごりすゑ 傳ふゝりふゑ 衣ふゝりふゑ 衣ふゝりふゑ

海老川のほとり史を記す

平風流

新嘉坡 郭子 面 白 之 子 明 子

双親と世間の〜をよき二人のわかれ
 常の成程〜ふれし〜
 夢の花園〜みゆ〜
 海一面ふ〜
 心これぞ老ある〜
 ふれ〜
 うらた〜
 あげれど〜
 り〜
 あ〜
 とき〜
 い〜
 な〜

黄香

コウカン アシレー
 江表島凌といふ所は人なり老莊の如きは
 學び又ハ文と云々書て人をももて成るゝ
 好く然れ父より子に傳へて人なり
 トリ クラヒ アライメテ フスミチ アタカニシ
 日月溫金版夜天麻枕源
 シン ドウナレトモ シレリ コロ ショクコ
 児臺妙子職平右一黄香
 其月は今も温や暖ありしときそのまゝ時はい
 父乃通達を我知れどあつて是をわづせ
 まゝして良き小物哉あるべし海にそそぐ

[illegible][illegible]

濱子寒馬

関^キと成^{ナリ}し居^イる者^{モノ}と云^{イハ}ふは 山^サ東^{トウ}に 兗^{トウ}列^{シウ}府^フ
 の曲阜^{キョクフ}に 所^{ショ}の^ノ大^{ダイ}に 孔^コ子^コを 葬^{サウ}す^スに 十^{ジュ}人^{ニン}
 を 送^{ソウ}り^リぬ。 中^{チュウ}の^ノ一^{イチ}人^{ニン}也^ヤ。 居^イる^ル者^{モノ}。 関^{カン}子^コを 葬^{サウ}と^ト孔^コ子^コ
 も 葬^{サウ}と^ト云^{イハ}ふ^フに 葬^{サウ}す^スに 十^{ジュ}人^{ニン}を 送^{ソウ}り^リぬ。 中^{チュウ}の^ノ一^{イチ}人^{ニン}也^ヤ。 居^イる^ル者^{モノ}。 関^{カン}子^コを 葬^{サウ}と^ト孔^コ子^コ

後方母ふ二人に子あり母あるを愛して國
 子養ふやうに戸の初めよりて養ふ所に入れ
 養へけり。はるふ身より愛て、あるの稱けまじく父後の
 養ふところとていふこと、國子養、曰母ある時を子^{サシ}
 びふ母あるやうに子とては、いよさうせうけ
 れども母あるを愛するに、それよりある子の
 如く養ふに、いよさう

言^{コト} 氏^{ウヂ}
 あ 有^{アリ}
 蔵^{クラ} 笑^{ウツ}
 母^{ハハ} 良^{ラウ}
 在^{アイ} 何^{ナニ}
 之^シ 爲^{ナラ}
 子^コ 然^{シカ}
 免^メ 晚^{バン}
 風^{フウ} 娘^{ムスメ}
 霜^{スウ}

國成ゆゑに、あつては、びんけい、きんぎょ、
と、あつては、いかに、あつては、いかに、
は、いかに、あつては、いかに、

と、母の母と云ふ也。是より母を云ふは、
 父妻を云ふなり。此より父を云ふは、母を
 母を云ふは、父を云ふは、子風を云ふは、
 人なり。母を云ふは、風を云ふは、子風を
 是誠の関の意に在り。此より父を云ふは、
 れは、母を云ふは、誠なり。此より父を
 古人の曰く、母を云ふは、人なり。此より
 母を云ふは、此の理なり。

姜詩

信濃乃代の人也父よりなまれて母より成

呉極

いづれの人と傳記收まらずに幾歳か
 有り道をあれ。人なり。あまのこゝろ

黄^{ワウ} 庚^{コウ} 金^{キン} 帷^イ 帳^{チャウ} 敷^キ 多^タ 尺^{シツ} 敢^{カン} 揮^フ
 忠^{シュウ} 渠^ケ 膏^{コウ} 血^{ケツ} 飽^{ボウ} 免^{メン} 使^シ 親^{シン} 入^イ 圍^イ

方^{ホウ} 飲^{イン} 惟^イ 帳^{チャウ} 敷^キ 多^タ 尺^{シツ} 敢^{カン} 揮^フ
 ひんぷい〜黄の庚の金帷帳敷多尺敢揮
 まやう〜黄の庚の金帷帳敷多尺敢揮
 ち〜黄の庚の金帷帳敷多尺敢揮
 血^{ケツ} 飽^{ボウ} 免^{メン} 使^シ 親^{シン} 入^イ 圍^イ

膏^{コウ} 血^{ケツ} 飽^{ボウ} 免^{メン} 使^シ 親^{シン} 入^イ 圍^イ
 膏血とる油をきたる膏のあまのこゝろ
 忠^{シュウ} 渠^ケ 膏^{コウ} 血^{ケツ} 飽^{ボウ} 免^{メン} 使^シ 親^{シン} 入^イ 圍^イ
 忠渠膏血飽免使親入圍
 ひんぷい〜黄の庚の金帷帳敷多尺敢揮
 まやう〜黄の庚の金帷帳敷多尺敢揮
 ち〜黄の庚の金帷帳敷多尺敢揮
 血^{ケツ} 飽^{ボウ} 免^{メン} 使^シ 親^{シン} 入^イ 圍^イ

王城乃性人
中世とす人乃
此の意なり

大いなる心
を以てし
知れぬ心
なり

董永 トウ
ヨイ

海濱の代の人し家世延年と云ふ家より
 ある常より人より信じてありてありて
 言ひ送りて人し父歳老くと云ふ事なり
 父老のせ田よりあると云ふ事なり
 蘇父貨方兄天娘泊上途
 徴宿債債主孝感恩知
 父老のせ田よりあると云ふ事なり

[illegible]

たる虎。人まじりし者。一。事のたれ。ふ。ふ。ふ。
 すぐは親子あや。弟のわらふ。入。海。なる。
 あだ。う。新。し。是。の。れ。ゆ。揚。書。若。り。ふ。
 虎。我。身。や。つ。た。と。父。と。は。す。や。め。と。天。乃。
 う。せ。い。一。日。望。ひ。あ。や。と。も。む。い。今。と。た。け。い。り。
 れ。と。と。虎。と。さ。ず。あ。け。一。し。是。陽。香。う。す。が。弟。の。
 目。ふ。れ。と。海。一。く。見。ゆ。天。則。や。れ。ふ。ふ。と。り。
 一。一。あ。り。い。め。の。あ。り。

子貢 宗

是國乃 汝友と云所の人なり 晋乃國を八帝一

降めきて 監池司馬と云友一はれり 汝と云り
 する友一は時忽に 能と云り 送り 送り 送り 送り
 送り 送り 送り 送り 送り 送り 送り 送り
 送り 送り 送り 送り 送り 送り 送り 送り

泪 滴 荆 風 電 蕭 々 竹 數 竿
 頃 史 春 筆 出 天 意 報 平 安

泪 滴 荆 風 電 蕭 々 竹 數 竿
 頃 史 春 筆 出 天 意 報 平 安
 一。一。天。乃。の。新。雲。一。と。園。と。流。す。と。云。り。
 蕭。一。と。竹。と。云。り。と。云。り。と。云。り。と。云。り。と。云。り。
 一。一。と。云。り。と。云。り。と。云。り。と。云。り。と。云。り。と。云。り。

[illegible]

郷臣

[illegible]

始めのりやうなりと所の名漢ぞしきふいけとまへ
きて所いふやうなりと所の名漢ぞしきふいけとまへ
はのちよきなり天下ふりれりなりと也

七歳生離母冬高五十年

一相相見面花氣動皇天

七方生く母一離くとも七の付く母を母

冬高き秋のめづのともをせたり母一別れりなり

こりめいふまふいふのまへ一相面を相見るとを

母壽昌天にふくせむいあけ書母をいふ安き

のちま道にゆれゆめいてす時をのぞきよりあひあ

とまふいあけ氣を天に初めたりとをまふいあ

とまふいあけ氣を天に初めたりとをまふいあ

とまふいあけ氣を天に初めたりとをまふいあ

とまふいあけ氣を天に初めたりとをまふいあ

とまふいあけ氣を天に初めたりとをまふいあ

とまふいあけ氣を天に初めたりとをまふいあ

とまふいあけ氣を天に初めたりとをまふいあ

とまふいあけ氣を天に初めたりとをまふいあ

とまふいあけ氣を天に初めたりとをまふいあ

とまふいあけ氣を天に初めたりとをまふいあ

とまふいあけ氣を天に初めたりとをまふいあ

とまふいあけ氣を天に初めたりとをまふいあ

とまふいあけ氣を天に初めたりとをまふいあ

とまふいあけ氣を天に初めたりとをまふいあ

とまふいあけ氣を天に初めたりとをまふいあ

曾参

山東兗州府嘉祥縣人孔子の弟子曾子

とて家範といふけれなりとすあひて道流り

徳成はるる人

延母人

有王祥

天下無

至今

河水

上

一片

外米摸

延母人君はありてけいばと云ものくち中

あまのいしと云ものま様と下ふりてまあるま

あけいけと云ものいせふはありてまあるま

あむじ賜め。ま様。ゆきまあるまありて

まの。天下ふりて。まあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

けいばと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

あまのいしと云ものま様。ゆきまあるまありて

蔡順

後漢の代り人し海東と云所より傳はる人なり又ふ
 華より好望書より其元王莽と云もの礼と云ふ
 天下礼と飢饉なり人食草小走トホシ
 榮りみ望り海より人し

赤^{シヤリ} 眉^ビ 初^{シツテ} 順^{ジュン} 牛^ウ 米^{ベイ} 贈^{ゾクツテ} 君^{キミ} 政^{セイ}
 思^シ 椿^{チン} 春^{ハル} 親^{シン} 園^{エン} 啼^{タイ} 肌^{ウエ} 潤^{ナシメ} 満^{ミツ} 衣^{フクロモ}

三つより四つ小切す六冊一巻と云ふし
 此は
 暗く洞窟なり
 此は
 此は
 此は

[illegible]

山田一ノ麦心は山田一ノ北田とては一ノ麦の
中も愛心は山田一ノ麦心とては一ノ麦の
心も一ノ麦心とては一ノ麦心とては一ノ麦心
かふふふふふふふふふふふふふふふふふ
子曰存莫大於嚴父と聖人の心と相叶ふは

山谷

常例に人なり新なる坡にすまふ家あるを
人あるや一はあり一はなし

貴人天下平公為事親
汲泉隨隱思婢妾意は人

山田一ノ麦心は山田一ノ北田とては一ノ麦の
中も愛心は山田一ノ麦心とては一ノ麦の
心も一ノ麦心とては一ノ麦心とては一ノ麦心
かふふふふふふふふふふふふふふふふふ
子曰存莫大於嚴父と聖人の心と相叶ふは
山田一ノ麦心は山田一ノ北田とては一ノ麦の
中も愛心は山田一ノ麦心とては一ノ麦の
心も一ノ麦心とては一ノ麦心とては一ノ麦心
かふふふふふふふふふふふふふふふふふ

佛曰。父母恩。有源。有自。親。且。委。大小
 下。賤。不。離。狀。迢。是。父。母。恩。重。經。之。文。也。
 一。の。心。海。の。を。の。す。め。り。佛。の。ゆ。め。と。あ。い
 め。の。もの。の。り。と。い。り。か。あ。た。る。も。思。ひ。なり。

王 裏

晋の國をいふと云新乃人し賢人なり友あり
 帝よりはめすまふし一くも文りしにあらむも
 なりぬるなりき世よりぬるし或は父乃王義
 りたりしなり帝文帝ふれぬるしにあらむも

[illegible]

河 ^ア 慈 ^ジ
 音 ^{キヤウ} 母 ^バ
 時 ^{トキニ} 怕 ^{コソレ}
 一 ^{ヒトツビ} 吸 ^{キキバ}
 震 ^{フルアバ} 雷 ^{ライウ}
 到 ^{イタリテ} 冰 ^{ヒヤリ}
 墓 ^{ハコ} 魂 ^{コン}
 遠 ^{ダール} 名 ^{シユウス}
 千 ^{セン} 夜 ^ヤ
 廻 ^{クワイ} 豪 ^{クワイ}

意丹を好む事多し意に依ぐるともありて
世父とありし雷を好む事多し母を好む事多し
れども多し此魂とありしと裏とありし人間と此魂とありし

[illegible]

了蘭

何れにても野王と云ふ人のしすなり時相りせられけり
 ちあーいそ母のめつちあき像り作りとてさうゆ
 いうある時ちあきーはあありあけしきあきあき
 とあきとてあ像り面とにあきーけきとあきとあき
 とれうけあ流れけり二日とて丁蘭とあきとあき
 とあきとてあきとあきとあきとあきとあきとあき
 告げるとあきとてあ像り通入とてあきとあきと
 二年とてあきとてあきとてあきとてあきとてあき
 とあきとあ像りあきとてあきとてあきとてあきと
 あ像りとてあきとてあきとてあきとてあきとてあき

刻^{キカミ}木^キ爲^{ナリ}意^{ナリ}
 衆^{ヨル}言^{コト}諸^{シヨ}子^シ短^{テウ}少^{キイラ}不^{ハヤリ}若^{コウ}其^シ親^{シニ}
 刻^{キカミ}木^キ爲^{ナリ}意^{ナリ}
 衆^{ヨル}言^{コト}諸^{シヨ}子^シ短^{テウ}少^{キイラ}不^{ハヤリ}若^{コウ}其^シ親^{シニ}

